

第1回策定委員会（6/29）後の委員からの意見・提案一覧

資料1

委員名	項目	内容	今後の対応
<p>佐竹さん <small>（吉田委員の代理出席）</small> （新川森林組合）</p>	<p>第2次観光振興計画 戦略Ⅱ 観光資源の活用 戦略Ⅲ 魚津ブランドの創出</p>	<p>魚津に行ってみたいと思わせる動機づけ。 「清流」をキーワードにインターネット検索をしたら、大変美しいカヌーの写真があり、美しい景色や食事を想像させられた。 魚津でも、透明度の高い清流や豊かな自然、蜃気楼やホタルイカの身投げ等、神秘的な体験、魚津ならではの美味しい食事があります。 様々だと思うが、どうしたことがきっかけで人が観光へ行動を移すのか、魚津の魅力を照らしながら、関係者と専門家を交えて、検討し続ける事が必要だと考えます。</p>	<p>片貝川流域などの豊かな自然や四季折々の食など地域資源を組み合わせることで、観光客が魚津に訪れ、観光消費につながるように、関係者や専門家の意見を交えながら計画の中で検討していきます。 なお、今年度、片貝川流域水循環遺産の利活用に関わる計画を市で作成中です。</p>
<p>塚本委員 <small>（あいの風とやま鉄道魚津駅）</small></p>	<p>県内からの誘客促進</p>	<p>魚津市制作の観光ポスター（4連もの）をあいの風とやま鉄道の主要駅（富山、高岡）に掲出し、PRする事により、県内をはじめとして更なる誘客促進を図っていく。</p>	<p>あいの風とやま鉄道の主要駅をはじめ、来訪者の拠点となる新幹線駅や空港などにも観光ポスターを掲示いただくなど、既存媒体を効果的に活用しながら誘客促進に努めていきます。</p>
<p>浜住委員 <small>（魚津漁業協同組合）</small></p>	<p>全般</p>	<p>観光客が使うお金で魚津市に何をもちたらすのか、一部の関係者だけでなく、幅広く市民に理解してもらう事が大事。 呉市の1Pにある通りで、振興のみに突出せず、かつ拘らず次の計画では全ての人の道標となるような計画を期待します。 ※参照呉市計画P16 全ての市民が「観光が自分たちの生活を支える大切な産業である」という意識を持ち、観光客を歓迎する機運を高める事が大事である。</p>	<p>観光施策について、市民を含めた幅広い人々に理解いただきながら進めていくことは重要です。 外部有識者からの助言にもあった「呉市」の計画も参考に、具体的な目標値を設定するなど分かりやすい計画となるように努めるとともに、市民のおもてなしの意識醸成が図られるように計画に反映させていきます。</p>

第1回策定委員会（6/29）後の委員からの意見・提案一覧

委員名	項目	内容	今後の対応
<p>前澤委員 （観光ボランティアじゃんとこい）</p>	<p>認知度UP 売上UP</p>	<p>魚津の事を聞かれてた時、何もないと答える事が多い。 子どもころ魚津の観光資源等全く教えられていなかった。 小学生等を対象とした観光資源の教育を行っていく。 魚津は沢山の宿泊施設、飲食店そして観光資源がある。 宿泊飲食観光と連携して売上アップを図るべき。 魚津でしか買えないお土産、お土産を買える場所を増やすべき。</p>	<p>将来を担う地元の若い世代が魚津の良さをしっかり認知することが重要です。 今年度から実施している「魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト『親子体験会』」のように、楽しみながら魚津の魅力を知ることができる取り組みや教育委員会の「ふるさと教育」事業などを参考にして計画の中に反映していきます。 また、魚津の特徴である好立地の宿泊施設や飲食店の多さなどを活かし、域内経済循環や観光消費額の増加を意識した計画となるよう努めます。</p>
<p>吉川さん （堀委員の代理出席） （魚津市施設管理公社）</p>	<p>総論</p>	<p>①経済政策の一つとしての計画となるように努めてください。 ②選択と集中及び優先順位 ③意味のない施策事業をやめる事 →役所はやめる事が苦手②③を基本にしてどんどん進めてください。</p>	<p>外部有識者の助言を参考にしながら「観光は経済政策」という意識のもと、施策の選択と集中や優先順位を意識して計画策定の中で検討していきます。</p>

第1回策定委員会（6/29）後の委員からの意見・提案一覧

委員名	項目	内容	今後の対応
<p>広瀬委員 （魚津市体育協会）</p>	<p>観光資源を活用した観光コンテンツ及び旅行商品造成</p>	<p>魚と名の付く魚津市としてインパクトのある事業 【海】 海釣り漁船の運行や養殖いけす、新鮮な魚介類が味わえるお食事処（年間を通して）、漁獲量の高い産物のブランド化＋水族館、ミラージュランド等での活動も含めて魚津で1泊してもらえるような企画（半日プラン） 【山】 イワナ等川魚の釣り、養殖いけす、味わえるお食事処、蛇石や洞杉ハイキングと付近の現存施設を利用したアスレチック遊具の設置、片貝シェルピースでの宿泊（半日プラン） 海＋山での1日プラン、新規名産品の開発、温泉バナナやチョウザメ養殖</p>	<p>観光施策に関連する「魚津市3港将来ビジョン・周辺エリア活性化計画」や日本風景街道「蜃気楼ロード」等、本市の様々な計画等に連動性のある計画となるよう努めていきます。 そのなかで、地域資源を上手く組合せ、来訪者（消費者）が望む観光コンテンツや旅行商品の開発ができるよう宿泊事業者、飲食店、交通事業者等と検討していきます。</p>
<p>浜岡委員 （公募）</p>	<p>地域住民参加の重要性と企画の断捨離と分かりやすさ</p>	<p>策定委員レベルでも案件が多いという意見が多い。 委員も市民も目に見える、魚津市と連携された市民との取り組みが3つほど形としてあればいいのではないかと。 例 海のルート、山のルート、里のルート ここには、附随する観光資源のブラッシュアップと経済活動により普段住民が集う商業、自然を味わえる場所づくりが必要。ポテンシャルはあるので、自立した点を作って線を結び面として伝える努力が必要。 大変な事であるが、皆さんがワクワクできて夢に向かえると思う。</p>	<p>分かりやすく、かつ市民や関係者などに広く理解していただき、皆さまにとってワクワクできて夢に向かうことができる計画づくりに努めます。</p>